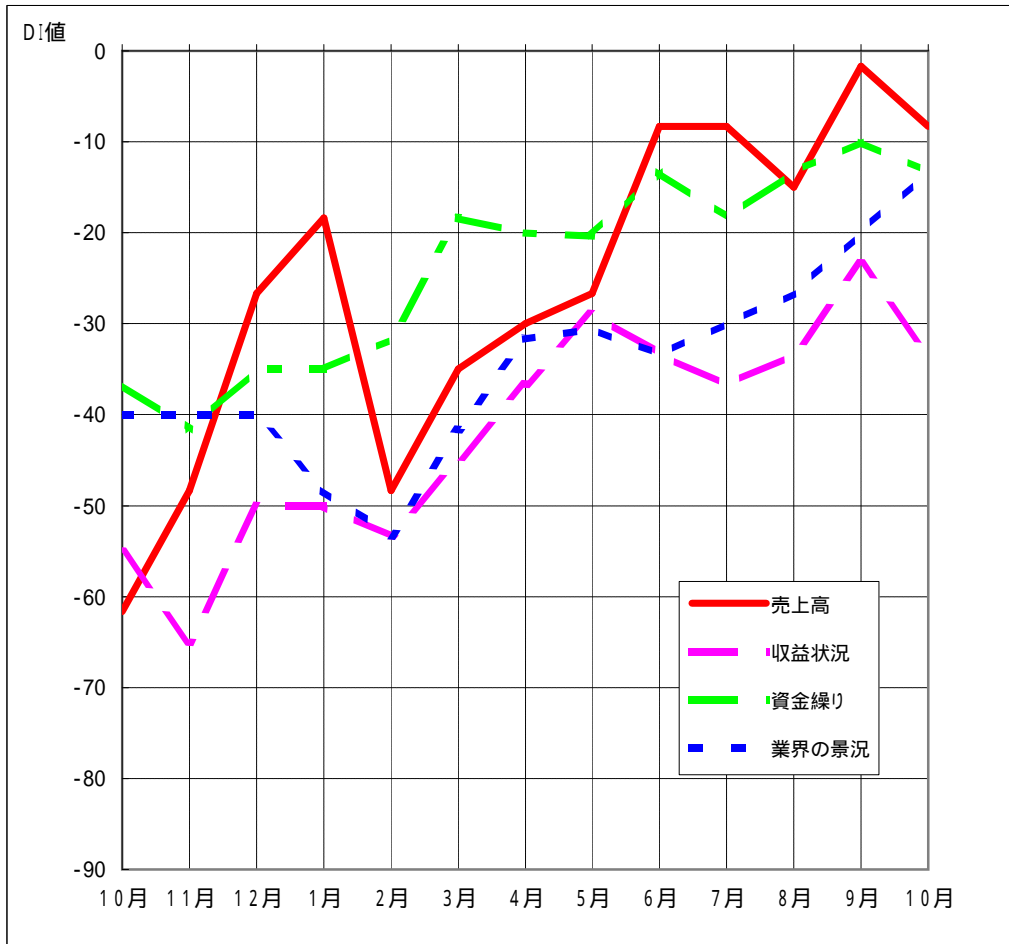


# 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成16年10月～平成17年10月

単位:ポイント



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	-62	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3
収益状況	-55	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3
資金繰り	-37	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3
業界の景況	-40	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3

10月のDI値をみると、前年同月より全項目で好転したが、昨年の10月23日に発生した中越地震の影響を考慮する必要がある。各DIについて、単純に比較をすれば「売上高」DIは前年同月より53.4ポイント改善し、マイナス1桁台に推移した。「収益状況」DIにおいては、21.7ポイント改善し、マイナス30%台に推移した。「資金繰り」DIは、23.4ポイント改善し、マイナス10%に推移。「景況」DIは前年同月より26.7ポイント改善し、マイナス10%に推移した。ここ3カ月の景況は、堅調に推移している。

組合の特記事項からは、製造業では、「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で繁忙であるとの報告があるが、多くの製造業では売上低迷、原材料高騰、石油価格高騰等の影響で収益は厳しいとする報告も多い。非製造業では、「卸売業」の一部で昨年の災害復旧により、需要増とするがそれ以外の非製造業の多くでは、売上減、材料費上昇等厳しい状況が続いている。

新潟県内の中小企業は、一部で持ち直しに向けた動きがみられるものの、楽観視できず総体的にほとんどが景気回復を実感できない状況にある。